



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2023/02/04

あっさり黙示録 #51

—大バビロン壊滅で悲しむ政治権力者たち—

黙示録 18 章

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏

お元気ですか。高原剛一郎です。今日はあっさり黙示録 51 回目です。

今私たちが見ているのは、“反キリスト帝国の首都大バビロンがたった一日で壊滅する” という預言で、この預言のシーンが詳しく書いてあるのが黙示録 18 章です。

バビロンはギリシア語です。ヘブライ語ではバベルで、混乱という意味があります。

神によってもたらされる秩序や調和を混乱させるもの・破壊するもの・反逆の中心都市がバベル。ギリシア語読みがバビロンですね。

バビロンが壊滅した時、全人類の反応は真二つに割れます。大いに喜ぶ人々と大いに悲しむ人々。大いに喜ぶ人々は、バビロンによって散々虐げられ苦しめられて来た人たち。具体的には、艱難時代にイエス・キリストを信じた人たち。大いに悲しむ人々は、反キリストと繋がることで勝ち誇って来た人たちです。

黙示録 18 章では、大バビロン崩壊で大いに悲しむ人たちのことを詳しく解説しています。これは 3 つのグループなんですが、今日は第 1 のグループについて 3 つのポイントでお話します。

1) 地球はサテライトやインターネットによって結ばれる時代が実現している

9 彼女と淫らなことを行い、ぜいたくをした地の王たちは、彼女が焼かれる煙を見ると、彼女のことで泣いて胸を打ちたたく。

彼女は反キリスト帝国の首都大バビロン。ヘブライ語もギリシア語も、大バビロンは女性名詞です。この時 7 つの国が世界を治めていて、反キリスト以外に、彼の下で働く 7 の人の王たちがいます。地の王たちはその 7 人の王たちと、彼らに仕える政治的指導者です。つまり地上の政治家たち。反キリストと繋がることで、たっぷり分け前をもらって来た政治的リーダーたちです。淫らなこと・ぜいたくは、反キリストと繋がることでもたらされて来た様々な特権でしょう。

地の王たちは、バビロンのすぐ隣に住んでいる王もいるでしょうが、何百キロ・何千キロ・1 万キロ以上離れた地球の裏側に住んでいる政治家たちもいるでしょう。

彼女が焼かれる煙を見ると。彼らはどこにいても、バビロンが壊滅し、炎上して立ち上る煙を見るんですね。これは普通には出来ないことですが、今の時代なら難なく可能です。サテライトやインターネットによって、地球の 1 か所で起こった大事件をリアルタイムで見ることが出来るからです。

黙示録は 2000 年前に書かれました。サテライト/衛星中継もインターネットもありません。

ここで、“終末時代では世界の 1 か所で起こった出来事を、どこに住んでいても同時に見ることが出来る” ということを前提に語られているんですね。

黙示録は聖書の預言です。“聖書の預言はまさに神のことばであるので、世の終わりのことを正確に預言できるのだ” という 1 つの根拠になると思います。

2) 地の王たちは遠く離れて立っている

10 彼ら（地の王たち）は遠く離れて立ち、彼女の苦しみに恐れをなして、「わざわざいだ、わざわざいだ、大きな都、力強い都バビロンよ。あなたのさばきは一瞬にしてなされた」と言う。

遠く離れて立つ。バビロンから距離を置いて眺めてるんです。彼らは地の王だから、自分の意思で軍隊・緊急展開部隊を動かすことが出来るでしょう。救急救命隊を派遣することも出来るでしょう。しかし、自分が繋がり、大きな富を得ていた、もたらしていたバビロンが壊滅しているにも拘らず、遠く離れて立っているだけ。眺めているだけ。助けに行かない。なぜでしょう。今更助けに行っても、生き延びている人は誰もいないことを知っているからです。それほど徹底的な壊滅。それが一目瞭然だった。完全なバビロン崩壊を見たんですね。

3) 地の王たちがバビロンに近づかない理由は、彼女の苦しみに恐れをなしたから

10 彼女の苦しみに恐れをなして…「あなたのさばきは一瞬にしてなされた」と言う。

バビロンは単に偶然的な自然現象で壊滅したのではなく、神の審判を受けた・神の裁きが振り下ろされたので壊滅した、ということを確認して認識してるんですね。なので、神の裁きの現場に自ら進み出て、自分にもその裁きが及ぶことを恐れたのです。だから「ああ、可哀そうに」とは言うけど、一歩も近づこうとしなかった。

彼らは「バビロンの壊滅は自然現象ではない。神の審判だ」ということを理解していたのです。なぜ理解できたのでしょうか。バビロンの崩壊の前に、彼らは警告を受けていたんです。既に見たところですが、もう一度見ておきましょう。

黙示録 14 章

6 また私は、もう一人の御使いが中天を飛ぶのを見た。彼は地に住む人々、すなわち、あらゆる国民（くにたみ）、部族、言語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音を携えていた。

7 彼は大声で言った。「神を恐れよ。神に栄光を帰せよ。神のさばきの時が来たからだ。天と地と海と水の源を創造した方を礼拝せよ。」

7年間の艱難時代の後半に入る時、もう一人の御使い/天使が中天を飛んで、世界中の人々が理解できる言葉で永遠の福音を語りました。

艱難時代、人々は救済方法を2つの手段で知ることが出来ます。

①**144,000人のユダヤ人**が全世界に出て行って、御国の福音を伝えた。

「今 傲慢で高ぶっているあのリーダーは反キリストで、悪魔の化身・手先であり、その結末は滅びだ。イエス・キリストが艱難時代の最後に地上再臨する。神の国は近づいた。悔い改めてイエス・キリストを信じなさい。」

②人間によるメッセージではなく、**もう一人の御使い**と言われる天使が永遠の福音を携えて、すべての人々に聞かせた。「神を恐れよ。神に栄光を帰せよ。神のさばきの時が来たからだ。天と地と海と水の源を創造した方を礼拝せよ。」反キリストを信じるのではなく、神を恐れよ。神に栄光を帰せよ。反キリストは自分自身を神と名乗っていますが、いや、神を恐れよ。

すなわち、天と地と海と水の源を創造した方がイエスとイコールであることを認めよ、というメッセージだと私は理解しています。

このように、神の裁きが来るというメッセージを彼らは聞いていたんです。

その裁きはどこに振り下ろされるんでしょう。

8 また、その御使いの後にもう一人、第二の御使いが来て言った。「倒れた、倒れた、大バビロンが。御怒りを招く淫行のぶどう酒を、すべての国々の民に飲ませた都が。」

艱難時代の終わりに、反キリスト帝国と関わりを持つすべての人は、前もって「倒れた、倒れた」と、大バビロンが確実に倒れる定めであること、滅亡することを聞いているんです。そのとおりのことが遂に目の前で起こった。それで分かったんですね。「あなたのさばきは一瞬にしてなされた」と。なので、18章の多くの政治家たち・リーダーたちの独白・言葉は、神の預言の成就を目の当たりにして震え上がっている時のものだと言えるんですね。

最後に1つお話しして終わらしましょう。

9…彼女のことで泣いて胸を打ちたたく。

黙示録の中で、これは悲しみの表現です。新約聖書にこの表現は全部で6回出て来ますが、黙示録には2回。1回は、反キリスト帝国の首都が崩壊したことを胸を打ちたたいて悲しむ。

もう1か所は地上再臨のキリストを見た人々の反応なんですね。

黙示録 1:7 見よ、その方は雲とともに来られる。すべての目が彼を見る。彼を突き刺した者たちさえも。地のすべての部族は彼のゆえに胸をたたいて悲しむ。しかり、アーメン。

艱難時代、①反キリストの滅亡を胸を叩いて悲しむ人がいる。②地上再臨のキリストを慕って、「私たちのために苦しんでくださった方が今、栄光の姿で戻って来られる。しかし、私たちは今まで創造主・救い主として知らなかった」ということを思い起こした時、単なる喜びではなく、悲しみの混じったような喜びで、地上再臨のキリストを迎える人たちがいるのです。

反キリストを慕って胸を叩く人。キリストを慕って胸を叩く人。人類はこの2種類に真二つに分かれます。あなたはいかがですか。神無き世界の、その世界観の中で、これから進んで行けますか。それとも、あなたを愛し、あなたのために素晴らしい計画を立て、いのちまで投げ出してくださいましたイエスを信じておられますか。ぜひ信じていただきたいのです。心からお勧めします。イエス・キリストはあなたの救い主だからです。

チャンネル登録もお願いします。ではまた ごうちゃんねるでお会いしましょう。それまで皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！

☆引用；日本聖書刊行会『聖書 新改訳 2017』いのちのことば社,2017